

事業所名 てくてく（児童発達支援）

## 支援プログラム

作成日

2026年

3月

25日

法人（事業所）理念		安心して過ごせる居場所づくり		
支援方針		お子様、本人が将来、日常生活や社会生活の人との（関わり）を円滑に営め、充実した生活を送れるようになる。		
営業時間		9時00分から18時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	○基礎的生活を送る必要な力を育む、例）くつの脱ぎ、はき 衣服の着脱 トイレトレーニング 指先の使い方等 ○食事や排泄などの基本的な生活習慣を身に着ける。		
	運動・感覚	○運動・遊びで身体を動かす動作の向上を目指す。例）トランポリン・バランスボール ○様々な触感遊びを通して、五感を感じるようになる。例）触る、ちぎる、こねる、切る貼る等（指先の運動・全体の運動）		
	認知・行動	○周りの状況の認知をして、行動に移す。 ○数・色等の概念の獲得。例）季節の工作、仲間分け、マッチング、色、形で遊ぶ等。		
	言語 コミュニケーション	○自身の意志（要求や拒否）を他者に伝えられる人間関係を築き ○言語以外の伝達手段の習得 例）集団遊びでの関り、言葉遊び等		
	人間関係 社会性	○他者と（お友達や大人）信頼関係を築き関りを楽しむ 例）ままごと、見立て遊び、リトミック、ルールある遊び・集団遊び ○一人遊びから集団遊びの幅を広げて行きます。		
家族支援		○家族からの困りごとなどに対する相談援助。	移行支援	○保育所への移行支援、就学に向けた準備
地域支援・地域連携		○保育所、家庭との情報連携、調整を図ります。	職員の質の向上	○5領域への理解を深める為の読み込み ○事業所内部研修、外部研修への参加
主な行事等		○長期休みの特別プログラム（お出かけ、買い物支援、調理等）季節ごとの活動（おもちつき、豆まき、ひな祭り、水遊び、七夕、ハロウィン、クリスマス会等）		

事業所名

てくてく（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2026年

3月

25日

法人（事業所）理念		安心して過ごせる居場所づくり		
支援方針		お子様、本人が将来、日常生活や社会生活の人との（関わり）を円滑に営め、充実した生活を送れるようになる。		
営業時間		9時00分から18時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	○生活習慣や生活リズムを整える、生活能力の向上、集団活動への対応力 例）一日の流れを知るために絵・写真・字等を示し、目で理解できる環境設定。 ○健康で、安全安心な生活が出来るよう支援します。		
	運動・感覚	○日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の習得 例）日常動作の中で正しい姿勢の維持習慣（机・椅子を使う） ○生活スキルのための補助用具の活用（）様々な感覚遊び動作を通じて五感の活用支援（粘土遊び、水遊び、トランポリン、ステップ台、ラダー、平均台）		
	認知・行動	○周囲の情報を適切に対応する力（判断や行動）につなげる支援（イラスト・写真の活用）例）型はめ、パズル、マッチング、ひらがな、数の計算、ルールあるゲーム、音楽療法 ○こだわりや、偏食に対する支援、数、空間、形、色等の概念の習得（認知機能の発達を促す支援）		
	言語 コミュニケーション	○コミュニケーションの基礎的な能力を育む支援（要求・拒否・意思）また、言葉や文字に触れ語いを増やす支援 例）絵本の読み聞かせ、少人数での言葉遊び、集団ゲーム ○あいさつや日常会話の習得、様々な言語に代わる手段の表現方法（マカント法、ジェスチャー等）、伝える、受けるの相互のやり取りの支援。		
	人間関係 社会性	○友達・支援者との信頼関係からアタッチメントの形成と安定を支援。 ○個別活動から集団活動に幅が広がるよう支援 ○自身の理解や感情のコントロールができて、対人関係が築けるように声かけや代弁の支援 例）集団遊び・ルールある遊び		
家族支援		○家族（兄弟・姉妹を含む）からの困りごと、悩みに対する相談援助。	移行支援	○学れい期後、将来的な以降の切り替えの準備 ○小学校・中学校・高校、併行利用先との連携
地域支援・地域連携		○学校・学童・家庭・相談事業所・関係機関との情報連携、調整を図ります。	職員の質の向上	○事業所内部研修、外部研修への参加 ○5領域、制度、療育等の知識を拡める
主な行事等		○長期休みの特別プログラム（お出かけ、買い物支援、調理等）季節ごとの活動（おもちつき、豆まき、ひな祭り、水遊び、七夕、ハロウィン、クリスマス会等）		